

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 セイコーホールディングス株式会社
 コード番号 8050 URL <http://www.seiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 村野 晃一
 (氏名) 石井 俊太郎

TEL 03-3563-2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	71,063	△21.7	△3,476	—	△5,294	—	△5,948	—
21年3月期第2四半期	90,746	—	1,040	—	542	—	3	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△51.74	—
21年3月期第2四半期	0.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	215,633	24,624	9.6	180.24
21年3月期	226,716	32,486	12.6	247.66

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 20,720百万円 21年3月期 28,477百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、期末の配当予想額は未定と変更させていただきます。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	247,000	41.9	4,600	—	0	—	△4,400	—	△29.87

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	116,424,000株	21年3月期	116,424,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	1,463,050株	21年3月期	1,435,822株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	114,965,126株	21年3月期第2四半期	115,985,952株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 通期の連結業績予想に関する事項につきましては、本日(平成21年11月10日)公表の「連結業績予想等の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」および5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
3. 上記の通り当期の連結業績予想を修正し、通期で当期純損失が発生することが見込まれることとなったことから、期末の配当予想額につきましては現時点では未定と変更させていただきます。詳細につきましては、本日(平成21年11月10日)公表の「連結業績予想等の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期（2009年4月1日～9月30日）は、金融危機による景気後退が各国の景気対策の効果もあり下げ止まりの様相をみせているものの、米国、欧州では失業率の上昇が続くなど、依然厳しい状況にあります。わが国においても、製造業における在庫調整の一巡や輸出増加により、景気持ち直しの兆しはありますが、雇用、所得環境の悪化による先行きへの不安から、個人消費は低調に推移しました。

このような事業環境のなか、当社の当第2四半期の連結売上高は前年同期と比べて196億円減少し710億円となりました（前年同期比21.7%減）。国内売上高は401億円（同16.4%減）、海外売上高は308億円（同27.7%減）であります。利益面では、引き続き経費削減を進めましたが、売上減少の影響を挽回するにはいたらず、営業損失は34億円（前年同期は営業利益10億円）、経常損失は52億円（前年同期は経常利益5億円）となりました。また、固定資産売却益2億円を特別利益に計上する一方、減損損失4億円他を特別損失として計上いたしました結果、税金等調整後の四半期純損失は59億円（前年同期は四半期純利益3百万円）となりました。

事業の種類別セグメント概況は、以下のとおりです。

【事業セグメント別の概況】

① ウオッチ事業

ウオッチ事業の売上高は、欧米、日本における個人消費の低迷に加えて、今期より国内時計等小売会社(株)クロノスを、ウオッチ事業からその他の事業セグメントに移管したことなどから前年より198億円減少し298億円（前年同期比40.0%減）となりました。国内は、高価格帯商品の不振が続く一方、中高級品の世界共通モデルとして世界同時発売した「ブライツ・アナンタ」が好調な滑り出しを見せるなど、緩やかながら売上は回復基調にあります。一方、海外でも、欧米を中心に市況の回復が遅れており、大幅な減収となりました。利益面では、経費削減を進めましたが、営業利益は5億円（前年同期比81.1%減）にとどまりました。

② プレシジョン事業

プレシジョン事業の売上高は137億円（前年同期比10.6%減）となりました。電子デバイス事業ではデジタルカメラ用シャッターが堅調に推移した一方、システム関連事業は、製造業向けアプリケーションソフトの売上が依然低迷しており、引き続き厳しい状況にあります。また、半導体事業は、主力の水晶発振器用ICをはじめとする半導体市況の回復にともない、売上の回復基調がより鮮明になってきました。これらの結果、営業損失は2億円（前年同期は営業損失3億円）となりました。

③ 眼鏡事業

眼鏡事業の売上高は125億円（前年同期比10.3%減）となりました。国内は、価格訴求のプライスショップが台頭するなか、これら流通向けの販売増加による平均単価の下落に加え、高付加価値商品の売上が低迷するなど、売上・利益ともに減少しました。海外は、米国の大手取引先向けの販売不振が続いている一方、欧州は順調に売上を伸ばしました。利益面では国内の不振が響き、営業損失2億円（前年同期は営業利益7百万円）となりました。

④ クロック事業

クロック事業は売上高 41 億円(前年同期比 29.3%減)となりました。高級品の販売不振が続くなか、普及価格帯商品に注力し売上を伸ばしましたが、大型特注品の減少もあり、全体では前年同期の水準まで回復するには至りませんでした。利益面では、引き続き製造原価の低減を進めましたが、営業損失は 4 億円(前年同期は営業損失 3 億円)となりました。

⑤ その他の事業

その他の事業の売上高は 140 億円(前年同期比 62.4%増)となりました。今期から国内時計等小売会社(株)クロノスを、ウォッチ事業からその他の事業セグメントに移管したことなどにより売上が増加しました。利益面では、営業損失 9 億円(前年同期は営業損失 16 億円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

【資産・負債・純資産の状況】

当第 2 四半期末の総資産は 2,156 億円、前年度末に比べて 110 億円の減少となりました。主な内訳は、前期末に実施した子会社からの受取配当金に関わる源泉所得税の還付に伴う未収入金の減少などによる流動資産の減少が 25 億円、関連会社株式の減少、土地建物の売却ならびに減損にともなう有形固定資産の減少など、固定資産の減少が 85 億円であります。負債につきましては、借入金の減少などから前年度末に比べ 32 億円減少し、1,910 億円となりました。純資産は、利益剰余金の減少、為替換算調整勘定の減少などにより前年度末に比べて 78 億円減少し 246 億円となりました。

【キャッシュ・フローの状況】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費 28 億円、未収入金の減少 22 億円、仕入債務の増加 15 億円などによりキャッシュ・フローが増加した一方、税金等調整前四半期純損失 56 億円、未払金の減少 14 億円などによるキャッシュ・フローの減少により 1 億円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の償還による収入 36 億円 他により 34 億円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済 23 億円などにより 28 億円のマイナスとなりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第 2 四半期末残高は 174 億円(前年同期は 154 億円)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

国内における雇用、所得環境の悪化による節約志向の強まりや、海外においても、欧米を中心とした景気動向が依然不透明であるなど、個人消費の回復にはなお一層の時間を要するものと予想されます。

これらを踏まえ、今期の連結業績の見通しにつきましては以下の通り修正いたします。

なお、当社は平成21年10月1日付で当社持分法適用関連会社であるセイコーインスツル(株)を株式交換により完全子会社といたしました。下記の通期連結業績予想には、第3四半期からのセイコーインスツル(株)およびその子会社の業績を含めており、また、通期事業セグメント別業績予想には、その売上高および営業利益を「セイコーインスツル事業」としてそれぞれ記載しております。

【通期連結業績予想】

	今回業績予想		前回 (8月11日発表値)
売上高	2,470億円	(前年比 141.9%)	2,800億円
営業利益	46億円	(前年比 --)	60億円
経常利益	0億円	(前年比 --)	30億円
当期純利益	△44億円	(前年比 --)	10億円

【通期事業セグメント別業績予想】

単位：億円

	売上高		営業利益	
	前年	今回予想	前年	今回予想
ウオッチ事業	935	665	16	23
セイコーインスツル事業	--	920	--	45
プレジジョン事業	285	310	△9	5
眼鏡事業	266	250	△3	0
クロック事業	114	95	△2	△3
その他の事業	202	320	△25	△9
事業別合計	1,804	2,560	△24	61
連結合計	1,740	2,470	△35	46

(注) 連結合計はセグメント間の内部売上高消去など、連結調整後の数値です。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
(完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更)

「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、この変更に伴う連結財務諸表及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,096	17,484
受取手形及び売掛金	25,646	26,031
商品及び製品	30,111	31,058
仕掛品	2,055	1,962
原材料及び貯蔵品	1,585	1,500
未収入金	849	3,109
繰延税金資産	1,474	1,396
その他	3,649	3,394
貸倒引当金	△1,596	△1,508
流動資産合計	81,871	84,430
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,331	40,335
機械装置及び運搬具	16,488	16,909
工具、器具及び備品	13,836	13,870
減価償却累計額	△40,163	△38,882
土地	52,607	52,576
建設仮勘定	137	173
その他	584	560
有形固定資産合計	82,821	85,543
無形固定資産		
のれん	552	656
その他	9,161	9,337
無形固定資産合計	9,714	9,994
投資その他の資産		
投資有価証券	34,782	40,279
繰延税金資産	1,735	1,696
その他	5,039	5,112
貸倒引当金	△330	△341
投資その他の資産合計	41,226	46,747
固定資産合計	133,761	142,285
資産合計	215,633	226,716

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成21年9月30日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,776	15,642
短期借入金	36,113	41,452
1年内返済予定の長期借入金	58,226	43,007
未払金	3,524	5,104
未払法人税等	587	303
繰延税金負債	57	67
賞与引当金	1,285	1,232
その他の引当金	626	691
その他	4,980	4,985
流動負債合計	122,176	112,487
固定負債		
長期借入金	45,159	57,573
繰延税金負債	1,886	1,822
再評価に係る繰延税金負債	5,490	5,490
退職給付引当金	9,942	10,323
その他の引当金	1,034	1,071
負ののれん	1,515	1,704
その他	3,803	3,757
固定負債合計	68,832	81,742
負債合計	191,008	194,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	447	447
利益剰余金	15,021	21,283
自己株式	△604	△593
株主資本合計	24,863	31,137
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	686	663
繰延ヘッジ損益	△70	31
土地再評価差額金	3,095	3,095
為替換算調整勘定	△7,855	△6,449
評価・換算差額等合計	△4,143	△2,659
少数株主持分	3,904	4,008
純資産合計	24,624	32,486
負債純資産合計	215,633	226,716

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	90,746	71,063
売上原価	55,167	45,706
売上総利益	35,579	25,357
販売費及び一般管理費	34,538	28,834
営業利益又は営業損失(△)	1,040	△3,476
営業外収益		
受取利息	157	50
受取配当金	401	173
負ののれん償却額	—	189
持分法による投資利益	689	—
その他	616	501
営業外収益合計	1,864	915
営業外費用		
支払利息	1,257	1,488
持分法による投資損失	—	775
その他	1,105	468
営業外費用合計	2,362	2,733
経常利益又は経常損失(△)	542	△5,294
特別利益		
固定資産売却益	—	221
投資有価証券売却益	600	—
特別利益合計	600	221
特別損失		
減損損失	—	456
関係会社貸倒引当金繰入額	—	101
特別損失合計	—	558
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,142	△5,631
法人税、住民税及び事業税	1,021	622
法人税等調整額	74	△294
法人税等合計	1,096	327
少数株主利益	42	△10
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3	△5,948

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,142	△5,631
減価償却費	2,585	2,882
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△40	△288
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△50	△7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20	125
受取利息及び受取配当金	△558	△223
持分法適用会社からの配当金の受取額	6	204
支払利息	1,257	1,488
為替差損益(△は益)	164	89
持分法による投資損益(△は益)	△689	775
減損損失	—	456
投資有価証券売却損益(△は益)	△600	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△221
固定資産除却損	107	48
売上債権の増減額(△は増加)	1,693	△198
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,753	177
未収入金の増減額(△は増加)	—	2,262
仕入債務の増減額(△は減少)	4,832	1,564
未払金の増減額(△は減少)	△1,866	△1,495
その他	786	△184
小計	2,038	1,822
利息及び配当金の受取額	557	224
利息の支払額	△1,250	△1,524
法人税等の支払額	△738	△328
営業活動によるキャッシュ・フロー	607	194
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,936	△665
有形固定資産の売却による収入	217	452
投資有価証券の取得による支出	△3,153	△0
投資有価証券の売却による収入	3,600	36
投資有価証券の償還による収入	—	3,600
貸付けによる支出	△309	△205
貸付金の回収による収入	446	279
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,106	—
その他	△650	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,894	3,471

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	84,534	223,722
短期借入金の返済による支出	△80,365	△228,927
長期借入れによる収入	7,000	23,580
長期借入金の返済による支出	△5,889	△20,775
配当金の支払額	△1,161	△290
その他	△150	△140
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,969	△2,830
現金及び現金同等物に係る換算差額	△216	△125
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	465	710
現金及び現金同等物の期首残高	15,122	16,841
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△87	△84
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,499	17,467

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

（単位：百万円）

	ウオッチ 事業	プレジジョン 事業	眼鏡 事業	クロック 事業	その他の 事業	計	消去 又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	49,611	15,007	13,984	4,722	7,421	90,746	-	90,746
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	139	326	51	1,174	1,227	2,920	(2,920)	-
計	49,751	15,333	14,035	5,897	8,649	93,667	(2,920)	90,746
営業利益又は営業損失(△)	2,802	△ 364	7	△ 323	△ 1,699	422	618	1,040

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	ウオッチ 事業	プレジジョン 事業	眼鏡 事業	クロック 事業	その他の 事業	計	消去 又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	29,091	12,929	12,543	3,400	13,099	71,063	-	71,063
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	783	783	46	766	949	3,329	(3,329)	-
計	29,874	13,713	12,589	4,166	14,048	74,393	(3,329)	71,063
営業利益又は営業損失(△)	530	△ 287	△ 276	△ 408	△ 987	△ 1,428	(2,047)	△ 3,476

(注)1. 事業区分の方法及び変更

- (1)事業区分につきましては、親会社における連結事業管理体制に基づき行っております。
- (2)連結事業管理体制の変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、ウオッチ事業に含めていた(株)クロノスをその他の事業に、その他の事業に含めていたセイコーサービスセンター(株)をウオッチ事業に含めて開示しております。この結果、当第2四半期累計期間のこの変更による影響額は、ウオッチ事業の外部顧客に対する売上高が5,248百万円減少、セグメント間の内部売上高又は振替高が624百万円増加し、その他の事業の外部顧客に対する売上高が5,248百万円増加、セグメント間の内部売上高又は振替高が717百万円減少しております。また、ウオッチ事業の営業利益が201百万円増加し、その他の事業の営業損失が102百万円増加しております。

2. 各事業区分の主要商品

事業区分	主要な商品
ウオッチ事業	ウオッチ
プレジジョン事業	情報ネットワークシステム、カメラ用シャッター、半導体
眼鏡事業	眼鏡レンズ・フレーム
クロック事業	クロック
その他の事業	ゴルフクラブ、音響機器、高級服飾・雑貨品、不動産賃貸、設備時計、スポーツ計時機器

2. 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

（単位：百万円）

	日本	アメリカ	欧州	アジア	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	59,512	9,572	12,425	9,236	90,746	-	90,746
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	11,577	0	18	14,297	25,895	(25,895)	-
計	71,090	9,573	12,443	23,534	116,641	(25,895)	90,746
営業利益又は営業損失(△)	245	△ 495	547	1,580	1,877	(837)	1,040

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	日本	アメリカ	欧州	アジア	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	46,892	6,579	9,004	8,588	71,063	-	71,063
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,706	2	1	7,955	14,665	(14,665)	-
計	53,599	6,581	9,005	16,543	85,729	(14,665)	71,063
営業利益又は営業損失(△)	△ 3,588	△ 308	52	818	△ 3,026	(450)	△ 3,476

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的隣接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1)アメリカ ・ ・ ・ ・ ・ 北米、中米、南米地域

(2)欧州 ・ ・ ・ ・ ・ ヨーロッパ、アフリカ地域

(3)アジア ・ ・ ・ ・ ・ アジア、オセアニア、中近東地域

3. 海外売上高

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

（単位：百万円）

	アメリカ	欧州	アジア	計
I 海外売上高	10,225	14,683	17,766	42,675
II 連結売上高				90,746
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.3	16.2	19.6	47.0

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

（単位：百万円）

	アメリカ	欧州	アジア	計
I 海外売上高	7,497	9,531	13,842	30,870
II 連結売上高				71,063
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.5	13.4	19.5	43.4

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的隣接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1)アメリカ ・ ・ ・ ・ ・ 北米、中米、南米地域

(2)欧州 ・ ・ ・ ・ ・ ヨーロッパ、アフリカ地域

(3)アジア ・ ・ ・ ・ ・ アジア、オセアニア、中近東地域

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域の外部顧客に対する売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。